

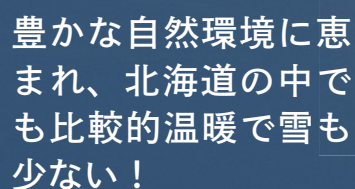
二つの海を持つまち

八雲町

 北海道八雲町

移住ガイド

ちょうどいい田舎



[道内からの交通]

函館駅から約1時間
札幌駅から約2.5時間
新千歳空港から約2時間

札幌から約3.5時間
小樽から約3時間
千歳から約3.5時間
苫小牧から約3時間
函館から約1.5時間
室蘭から約2時間

函館港、苫小牧港、小樽港、室蘭港から、
それぞれ車の時間

- ・新千歳空港→JR八雲駅 特急で約2時間
- ・函館空港→JR八雲駅 特急で約1.5時間

・東京駅から北海道新幹線・特急で約5時間



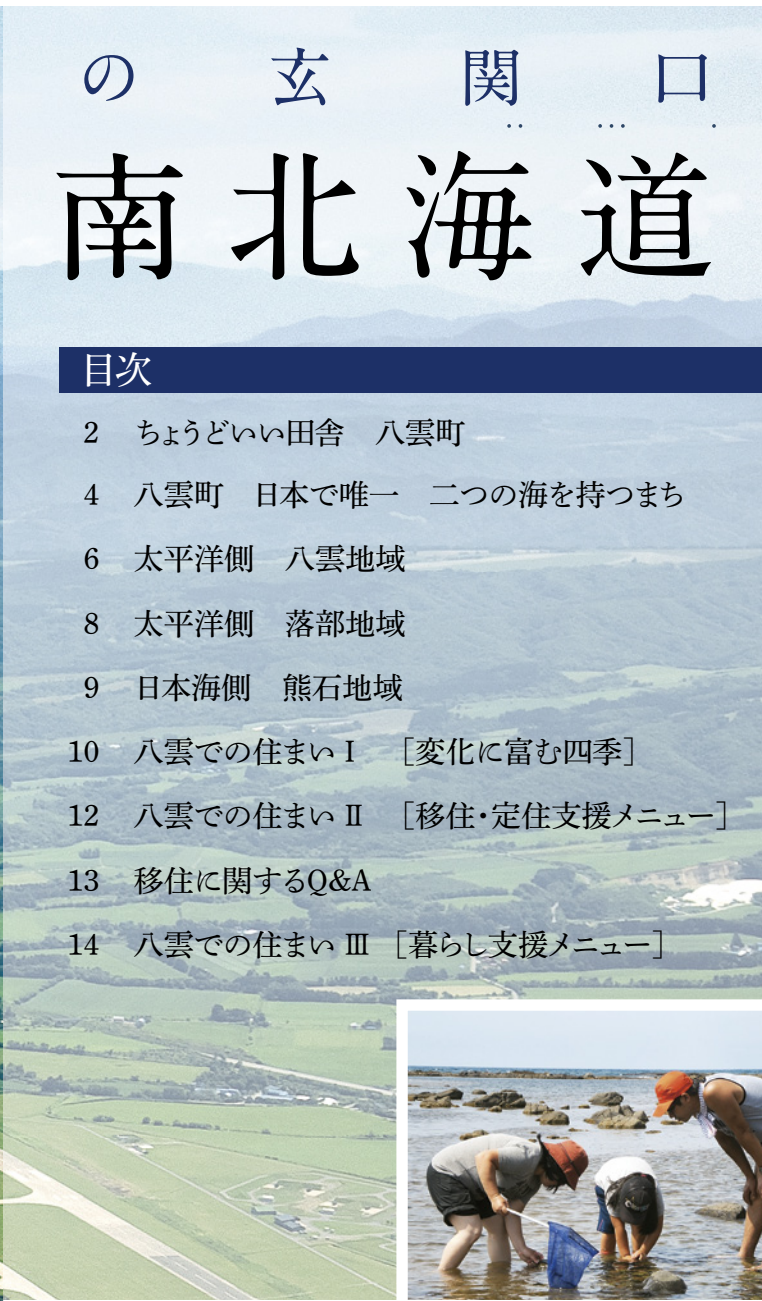
北 海 道

の 玄 関 口

南 北 海 道

目次

- 2 ちょうどいい田舎 八雲町
- 4 八雲町 日本で唯一 二つの海を持つまち
- 6 太平洋側 八雲地域
- 8 太平洋側 落部地域
- 9 日本海側 熊石地域
- 10 八雲での住まいⅠ [変化に富む四季]
- 12 八雲での住まいⅡ [移住・定住支援メニュー]
- 13 移住に関するQ&A
- 14 八雲での住まいⅢ [暮らし支援メニュー]

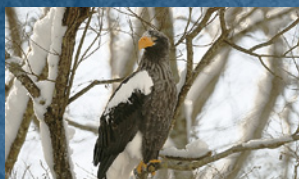


八雲町

日本で唯一
二つの海を
持つまち



町の花ひまわり



町の鳥オオワシ

八雲町の概要

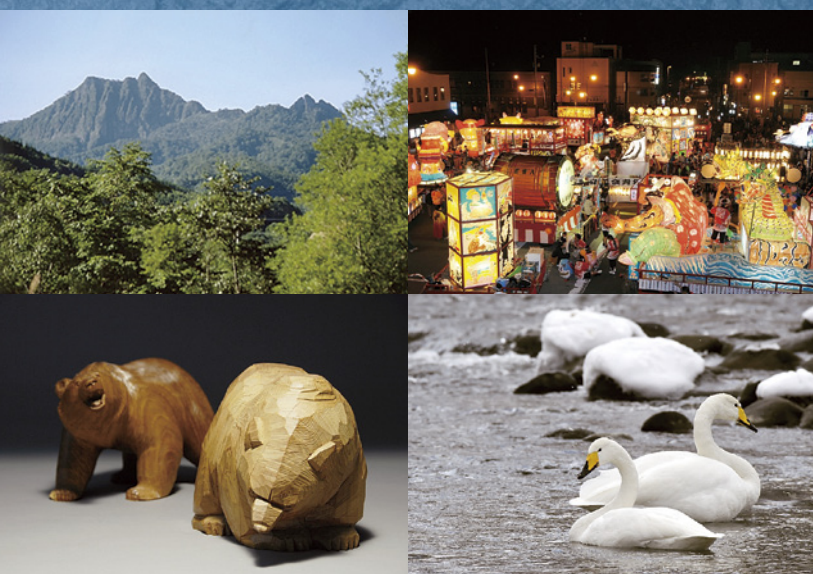
八雲町は、平成17年10月1日に太平洋に面する旧八雲町と、日本海に面する旧熊石町が合併し、太平洋と日本海2つの海に面する日本で唯一の町となりました。合併に伴い、2つの海をもつことにちなんで「二海(ふたみ)郡」という郡名が付けられました。

人口17,252人(平成27年10月・国勢調査)・面積956.08km²、北海道の南部、渡島半島のほぼ中央に位置し、恵まれた自然環境の中で農業、漁業が盛んに行われています。

基幹産業である一次産業は、農業が酪農を中心に水田・畑作、漁業が噴火湾ではホタテ養殖、日本海側ではイカ漁が中心となっています。

八雲町は自然に恵まれており、遊楽部川は鮭が遡上し、自然産卵する川で、冬には天然記念物のオオワシ・オジロワシが飛来します。





八雲の気候

過去10年間の平均





太平洋側

八雲地域



医療機関や商業施設などの
都市機能も充実しています。

八雲地域は、平成17年に旧八雲町と旧熊石町が合併しましたが、旧八雲町は、尾張藩主徳川慶勝公が明治維新で禄を失った旧臣授産のために遊楽部（アイヌ語のユラップが語源）の官有地払い下げを願い出て、1878（明治11）年に家持15戸72人と単身者10人を移住させたことから本格的な開拓が始まりました。八雲という地名は、慶勝公が豊かで平和な理想郷建設を願って、古事記所載の和

歌「八雲立つ 出雲八重垣 妻籠みに 八重垣つくる その八重垣を」にちなんで名付けられました。道南北部地域の中心地域として、医療機関や商業施設などの都市機能がコンパクトに整備されたまちです。その一方、市街地から数キロ足を伸ばすと、サケの自然産卵や天然記念物のオジロワシやオオワシの飛来が観察できる、多様な自然と都市の利便性がほどよく共存するまちです。





役場庁舎



八雲総合病院



JR八雲駅



国道5号バイパス

0 100 200 300 400 500m

内浦湾 (噴火湾)



デイサービス



八雲小学校



温水プール



遊楽部公園



本町商店街



Otoshibe 太平洋側 落部地域



産業のもうひとつの顔をもつ地域

落部地域は、八雲町の太平洋側南部に位置し、北海道近代酪農発祥の地である八雲町にあって、落部地域は道南で唯一のもち米生産団地があり、また水産加工業も盛んで独特の産業を形成する地域です。

農家と漁家の付き合いが深く、落部地域の農家は八雲の農家には珍しく“浜気質”。農家は「海産物は買う物じゃなく漁師からもらうもの」、漁師も「農作物は買う物じゃなく農家からもらうもの」と言いきるほど浜と山が一体となった地域です。落部地域の基幹産業である農業・漁業は、後継者が多く、とても活気にあふれています。



太平洋噴火湾



遊漁船



ホタテ



ホタンエビ



ガズミソウの栽培



軟白長ネギ



日本海側

熊石地域



青い海と古の文化が継承されるまち

八雲地域（太平洋側）から、日本で一番短いとされる太平洋側と日本海側を結ぶ国道277号を車で40分ほど走ると、目の前に日本海が広がります。この日本海側の熊石地域は、明治初期から尾張藩徳川家による開拓が

始まった八雲地域に比べ、江戸時代初期の松前藩が開拓を始めた土地です。その歴史は八雲地域に比べ約300年も古く、八雲地域とは異なる文化を継承しており、同じ松前藩であった松前・江差と比べても独自の文化

をもつ地域です。

海洋深層水や日本海特有の水産資源を生かした漁業も盛んです。また、「熊石あわびの里フェスティバル」には道内外から多くの人が訪れます。



熊石あわびの里フェスティバル



熊の湯



青少年旅行村



磯釣り



スケウタラの水揚げ



あわび



八雲での住まい

四季折々の祭り・イベントで賑わう八雲町

道央自動車道の八雲パーキングエリア開設と合わせて、平成 18 年に開園した道立公園噴火湾パノラマパークは、八雲町の新しいイベントエリアになっています。「噴火湾パノラマパーク大収穫祭」や、冬になると寒さを逆手に取って雪と親しむ「八雲さむいべや祭り」が開かれます。春には、満開の八重桜のもとで美味しいあわび料理が振る舞われる「熊石あわびの里フェスティバル」や、海産物豊富な「落部つつじ祭り」が開かれ、夏を迎えると、北海道三大あんどん祭りに数えられる「八雲山車行列」、八雲神社、根崎神社などをはじめとする地域の神社例大祭、熊石商工会夏まつりなど多彩で華や

かな祭りが続きます。また、秋の熊石産業まつりや、八雲町漁協「やくも大漁秋味まつり」、落部漁協「おとしべ豪海フェスタ」では、八雲沿岸に北海道で最も遅く回遊してきた大型のサケを求める人々で賑わう、漁業が盛んな八雲ならではのイベントがめじろ押し。

このように、八雲町内では春・夏・秋・冬を通じて、四季折々の祭りやイベントが開催されています。もちろん祭り・イベントだけではなく、豊かな自然環境を生かしたレクリエーション、スポーツ、温泉巡り、文化施設を利用した様々な余暇活動など、多くの町民が八雲の四季を楽しんでいます。



変化に富む四季を
どんぶんに楽しむ！





八雲神社例大祭



根崎神社例大祭



やくも大漁秋味まつり



八雲山車行列



落部つつじ祭り



八雲さいばや祭り



上の湯温泉銀婚湯



青少年旅行村



パノラマパークパークゴルフ場



パノラマ大収穫祭



町営スキー場



八雲ならではの豊富な特産品

豊富な海産物・農産物、それらを
生かした加工品の数々は八雲町自
慢の味覚です。



八雲町情報交流物産館 丘の駅

短期生活体験住宅(おためしハウス)

移住先を検討する手段として、町の様子を知り、暮らしぶりを体験していただく、短期生活体験住宅を用意しました。教員住宅を改修した1戸建て住宅で、家賃、光熱費、レンタル家具代をセットにしてお手軽な料金で提供しています。

おためしハウス豊河



- 市街地型／一戸建て／2Kタイプ
(2K：居間14帖+和室4.5帖
／延べ49.59㎡)
- コンロ：IHヒーター
- 給湯：灯油ボイラー
- 暖房：石油FFヒーター



おためしハウス黒岩



- 郊外型／一戸建て／2LDKタイプ
(2LDK：居間9帖+食堂6帖+
和室6帖+和室6帖
／延べ73.36㎡)
- コンロ：IHヒーター
- 給湯：灯油ボイラー
- 暖房：石油FFヒーター
- 冷房：エアコン



八雲町空き家バンク

町内の空き家を売却・賃貸したい人(所有者)と購入・賃借したい人(住み替え・移住希望者)とのマッチングを図るための制度です。

- 窓口：建設課管理係

TEL: 0137-62-2115 FAX: 0137-62-2120

e-mail: kensetsu@town.yakumo.lg.jp

HPアドレス: <http://www.town.yakumo.lg.jp/modules/akiya/>



移住者と移住サポーターとの交流会

移住者同士や移住施策に協力してもらっている団体及び個人からなる移住サポーターや八雲町移住推進協議会構成員との親睦を深める為、年に1回交流会を開催し、移住者が地元住民と気軽に話すことができる場を提供しています。



移住に関するQ&A

Q 八雲町で働くにはどうしたらいいですか？

A 八雲町ではホタテの養殖が盛んで、3月から6月にかけて稚貝をロープに吊るすための「耳吊り作業」が行われます。この時期は、いろいろなホタテ養殖業者が求人情報を出しています。また、大きな医療機関と商業施設、水産加工施設がありますので、このような求人情報は全国のハローワークで随時得ることができます。

Q 農業を始めたいのですが。

A 当町は、農業がとても盛んですので、学ぶにはうってつけです。町独自の新規就農者支援制度もご用意していますので、就農をお考えの方は、ご相談ください。

Q マイカーは必要ですか？

A 八雲市街地にお住まいであれば、商業施設や公共機関へ徒歩で行けますが、郊外へお住まいをご希望でしたら、マイカーは必須です。JRや路線バスはありますが、ルートが限られてるほか、本数も少ないので、マイカーがあると便利です。



Q 住宅はどのように探せばいいですか？

A 町内の不動産業者であれば、地元の情報を多く持っており、専門的な知識に基づいてアドバイスもしてくれます。また、当町では空き家バンクもありますのでぜひご活用ください。

Q スーパーはありますか？

A 町内には、スーパーが3カ所あり、ホームセンターやドラッグストア、大型電気店などもあります。また、地元で採れた野菜などが手に入る「産直市」も定期的に行っています。コンビニなどもありますので、ちょっとした買い物もすることもできます。



Q 移住するには何から準備すればいいですか？

A まずは、当町のことをよく知ってもらうために「おためしハウス」のご利用をおすすめします。町の様子を実際に体験できる施設を市街地型と郊外型の2棟をご用意しています。最長1ヵ月間、お手軽な価格でご利用できますので、八雲町の生活を実際に体験してみてください。

Q 移住後、地域住民とうまくやれていけるか不安です。

A 誰も知らない土地では、不安がつきものです。まずは町内会に加入しご近所さんとの交流を深めるのが一番です。また、当町では、「移住された方とサポーターとの交流会」を毎年1回行い、移住者と地域住民との親睦を深める機会を設けています。

暮らし支援メニュー

子育て・教育

子育て支援センター

子育てに関する様々な情報提供や、あそび場の提供、育児教育、各種講習会等、あらゆる相談・支援を行っています。

乳幼児等の医療費助成制度

就学前の乳幼児や小学生1年生から小学6年生までの児童が病院等で診療を受けたときの保険診療に係

子ども発達支援センター

発達の遅れや障がいのある子どもとご家族が、適切な支援を受けるための体制づくりをします。

る医療費の一部を助成しています。

保育

両親が共働き・病院・ケガなどのため、家庭で十分な保育を受けることができない0歳（6ヵ月以上）から5歳までの乳幼児を保育します。

【保育園の所在地および定員】

保育園名	対象児	定員	所在地	電話番号
あかしや保育園	6ヵ月～5歳	50名	落部867	0137-67-2707
国の子保育園	10ヵ月～5歳	90名	栄町12-1	0137-63-2372
なかよし保育園	6ヵ月～5歳	90名	相生町98	0137-62-3361
熊石保育園	6ヵ月～5歳	60名	熊石根崎町417	01398-2-3553
相沼保育園	6ヵ月～5歳	45名	熊石折戸町162-3	01398-3-8506

季節保育所

仕事等で保護者が多忙な時期だけ乳幼児を保育する臨時的保育所です。

【保育園の所在地および定員】

保育園名	開設時期	定員	所在地	電話番号
はまなす保育園	通年	20名	山崎142-3	0137-68-2274
こばと保育園	通年	80名	野田生160-11	0137-66-2576

幼稚園

【幼稚園の所在地および定員】

幼稚園名	定員	所在地	電話番号
八雲幼稚園	80名	末広町132	0137-62-2615
八雲マリア幼稚園	80名	東町19	0137-62-2267



健康・医療

八雲総合病院

道南北部地域のセンター病院として、高度医療、救急医療に対応するほか、周辺自治体の無医地区への巡回診療・医師派遣を行っています。

【診療科】

内科・循環器内科・外科・小児科・精神科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・整形外科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科・麻酔科・放射線科・歯科・リハビリテーション室
その他：人工透析・人間ドック・無医地区巡回診療・訪問医療（診療・看護・リハビリ・栄養指導・服薬指導）

熊石国保病院

八雲総合病院と連携し、熊石地域における地域に密着した医療を行っています。

【診療科】

内科・外科

道南ドクターヘリ

救急医療用の医療機器を装備したヘリコプターです。救急医療の専門医および看護師等が同乗して救急現場等に向かい、医療機関に搬送するまでの間、患者に救命医療を行いながら、短時間で専門医療機関等へ搬送することができます。

妊婦通院医療費の助成

町内に居住する妊婦さんが八雲総合病院産婦人科外来で健康保険の適用になる診療を受けた際の自己負担分を助成します。



☀ 福祉・介護

■入浴料助成事業

町内に居住する65歳以上の高齢者または身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を所持している方に対し、入浴料助成券を交付しています。

助成額：入浴1回につき 200 円

利用施設：温泉旅館銀婚湯・パシフィック温泉ホテル清龍園・温泉ホテル八雲遊楽亭・八雲温泉おぼこ荘・熊石ひらたない荘あわびの湯・見市温泉旅館・昭和湯・天然温泉和の湯



■除雪費助成金交付事業

おおむね65歳以上の高齢者や心身に障がいのある方で、身体が虚弱または障がいにより除雪が困難で、かつ協力者の確保ができない方に、町が指定する事業者が実施した除雪費用の一部を助成します。

■住宅整備資金助成事業

住宅を高齢者および障がい者向けに整備するために必要な資金の一部を助成します。



☀ 住まいとくらし

■合併浄化槽設置補助金制度

個人または事業所が合併処理浄化槽を設置する場合に、設置する浄化槽の入槽に応じ予算の範囲内で補助金を交付します。



■町営住宅

八雲町民か八雲町に転入する予定の方で、同居人がいるか同居する予定の人がいる方が利用できます。(所得制限有)



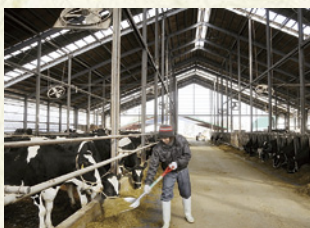
☀ 仕事

■ハローワーク八雲

町内の求人情報は、全国のハローワークで随時得ることができ、インターネットでの検索も可能です。

【お問い合わせ】ハローワーク八雲

TEL: 0137-62-2509



■高齢者能力活用センター

同センターでは、家庭・企業・公共団体などから仕事を引き受け、健康で働く意欲のある原則60歳以上の方を対象に、就業のニーズに応じた臨時的・短期的な仕事を提供しています。

【お問い合わせ】

八雲町高齢者能力活用センター TEL: 0137-63-4047





八雲町移住推進協議会

〒049-3192

北海道二海郡八雲町住初138番地

八雲町役場企画振興課内

TEL.0137-62-2300 FAX.0137-62-2120

<http://www.town.yakumo.lg.jp>

E-mail : kikaku@yakumo.town.lg.jp

発行日：平成29年3月

